

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和106年02月16日

計画の名称	【重点】広島県港湾海岸における高潮・津波対策の推進（防災・安全）													
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	広島県, 東広島市													
計画の目標	台風・南海トラフ巨大地震などの災害に備え、特に高潮・津波の被害が懸念される広島沿岸において、社会資本の老朽化対策や事前防災・減災対策等を一体的に、総合的に実施し、安全安心な地域づくりを実現する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		3,580	A	3,580	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和2年度当初		令和6年度末
1	防護達成面積を800ha（R2）から898ha（R6）へ引き上げる。（通常計画分を含む）			
	防護達成面積	800ha	ha	898ha
	防護達成面積＝防護面積×（対策完了延長／要対策延長）			
2	防護達成人口を40,120人（R2）か44,600人（R6）へ引き上げる。（通常計画分を含む）			
	防護達成人口	40120人	人	44600人
	防護達成人口＝防護人口×（対策完了延長／要対策延長）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
広島県強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：すべて												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
海岸事業	A09-001	海岸	一般	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	広島港海岸	護岸（改良）L=900m 他	広島市・坂町・ 廿日市市	■	■	■	■	■	1,280		－
	A09-002	海岸	一般	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	尾道糸崎港海岸	堤防（補強）L=160m 他	福山市・尾道市 ・三原市	■	■	■	■	■	515		－
	A09-003	海岸	一般	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	福山港海岸	護岸（改良）L=100m 他	福山市	■	■	■	■	■	625		－
	A09-004	海岸	一般	広島県	直接	広島県	環境	港湾	広島港海岸	安全情報伝達施設 他	坂町	■	■	■	■	■	330		－
	A09-005	海岸	一般	広島県	直接	広島県	老朽化	港湾	瀬戸田港海岸	排水機場修繕	尾道市	■	■				60		策定済
	A09-006	海岸	一般	広島県	直接	広島県	津高	港湾	尾道糸崎港海岸	堤防（補強）L=150m	福山市	■	■	■	■	■	240		－
	A09-007	海岸	一般	東広島市	直接	東広島市	老朽化	港湾	安芸津港海岸	長寿命化計画調査	東広島市	■					60		未策定
	A09-008	海岸	一般	広島県	直接	広島県	老朽化	港湾	尾道糸崎港海岸	護岸（改良） L=150m	三原市	■	■				220		策定済

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		R02	R03	R04	R05	R06													
		一体的に実施することにより期待される効果																	
海岸事業	A09-009	海岸	一般	広島県	直接	広島県	津高	港湾	広島港海岸 他	海岸基本計画見直し	広島市 他13市 町		■	■	■	■	90		－
	A09-010	海岸	一般	広島県	直接	広島県	老朽化	港湾	広島港海岸 他	長寿命化計画見直し	尾道市・福山市 ・坂町		■				30		－
	A09-011	海岸	一般	広島県	直接	広島県	耐震	港湾	福山港海岸	耐震性能調査	福山市		■				30		－
	A09-012	海岸	一般	広島県	直接	広島県	耐震	港湾	福山港海岸	堤防（補強） L=120m	福山市				■	■	100		－
											小計						3,580		
											合計						3,580		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	400	569	302	372	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	400	569	302	372	
前年度からの繰越額 (d)	0	280	561	381	
支払済額 (e)	120	288	482	451	
翌年度繰越額 (f)	280	561	381	302	
うち未契約繰越額(g)	182	499	208	237	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	45.5	58.77	24.1	31.47	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	平成30年7月豪雨災害への対応及び新型コロナにより関係機関等との調整に時間を要したことによる	平成30年7月豪雨災害への対応及び新型コロナにより関係機関等との調整に時間を要したことによる	平成30年7月豪雨災害への対応及び新型コロナにより関係機関等との調整に時間を要したことによる	地元や関係機関等との調整に時間を要したことによる	

(参考図面)

計画の名称	【重点】広島県港湾海岸における高潮・津波対策の推進（防災・安全）			交付対象	広島県・東広島市	
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）					

The map displays the coastline of Hiroshima Prefecture, highlighting various ports and harbors. Red circles and lines indicate specific project locations. Callout boxes provide details for each project:

- A09-001 広島港海岸(高潮) 坂地区 護岸(改良)L=60m**
- A09-004 広島港海岸(環境) 坂地区 安全情報伝達施設 1式**
- A09-001 広島港海岸(高潮) 江波地区 護岸(改良)L=900m**
- A09-001 広島港海岸(高潮) 廿日市南地区 胸壁L=300m**
- A09-001 広島港海岸(高潮) 元宇品地区 護岸(改良)L=180m**
- A09-007 安芸津港海岸 長寿命化計画調査**
- A09-002 尾道系崎港海岸(高潮) 機織地区 堤防(補強)L=160m**
- A09-006 尾道系崎港海岸(津波・高潮) 機織地区 堤防(補強)L=150m**
- A09-002 尾道系崎港海岸(高潮) 尾道地区 胸壁L=300m**
- A09-002 尾道系崎港海岸(高潮) 三原地区 護岸(改良)L=110m**
- A09-008 尾道系崎港海岸(老朽化) 三原地区 護岸(改良)L=150m**
- A09-003 福山港海岸(高潮) 一文字地区 護岸(改良)L=70m**
- A09-003 福山港海岸(高潮) 江の浦地区 護岸(改良)L=100m**
- A09-011 福山港海岸(耐震) 野々浜地区 耐震性能調査**
- A09-012 福山港海岸(耐震) 野々浜地区 堤防(補強) L=120m**
- A09-005 瀬戸田港海岸(老朽化) 排水機場修繕**
- A09-009 広島港海岸他(津波・高潮) 海岸基本計画見直し**
- A09-010 広島港海岸他(老朽化) 長寿命化計画見直し**

A scale bar at the bottom indicates 1:200,000.

※安芸津港は平成21年4月から、大柿港は平成23年4月から市管理港港に要

事前評価チェックシート

計画の名称：【重点】広島県港湾海岸における高潮・津波対策の推進（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性（計画の目標が海岸保全基本計画や地域防災計画等の上位計画と整合している。）	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応（計画の目標が過去の災害や切迫する災害に伴う被害の防止・軽減、環境整備といった地域の課題に適切に対応するものとなっている。）	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等（事業内容は、計画の目標を達成する有効な手段となっている。）	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果（【1】事業規模、施設諸元が適切であり事業実施により十分な効果が発揮される。）	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果（【2】隣接する海岸と整合した整備が行われている。（又は整備予定））	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（【1】住民等の合意形成が整っている。）	○
III. 計画の実現可能性	
②地元の機運（【1】海岸事業の実施に向けた機運が高い。）	○
III. 計画の実現可能性	
②地元の機運（【2】ハード整備とあわせてハザードマップの作成、防災訓練などソフト施策を実施。（又は実施予定））	○